

# 自然教室からつなげよう！ ～学年イベント大作戦～

6年特別活動 9月 5時間 附属新潟小学校 教諭 八子 正彦

## 1 本議題で目指す姿

**共通の目的をもった他者の経験から来る思いに共感し、折り合う決定方法を考える子ども**

具体的には、解決策の根拠となる他者の経験に着目し、自分と異なる解決策のよさを理解して決める「見方・考え方」を働かせ、解決策と理由の違いや多様性を認めて合意形成を図るという資質・能力を発揮して、「多数決で決めるべきだと思う。元々好きな人と遊べる「自由に回る」だったけど、これからの学校のことを考えると、もっとなかよし班で仲良くなることも大切だということが分かった。つまり、どちらにもちゃんとよさがあるから、多数決でよい。どちらになったとしてもお客さんにはルールをしっかりと説明して、友達と絆を深めてもらいたい」などと課題解決する子ども

※ 「なかよし班」とは、各学年1名ずつで構成される小集団のことである。

## 2 本議題で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

「見方・考え方」	
○ 解決策の根拠となる他者の経験に着目し、自分と異なる解決策のよさを理解して決める	
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力
○ どちらの解決策の立場の人も納得するための知識や技能	○ 解決策と理由の違いや多様性を認めて合意形成を図る力
③態度	
○ 自分の意見と異なる他者と協働して、みんなが納得できる方法を考えようとする態度	
○ 「6年生みんなで協力して、全校のみんなの絆がもっと深まるイベントにしよう」という目的に沿い、最高学年として下級生に働き掛けながらブースを運営しようとする態度（協働性）	

## 3 議題の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	★資質・能力	評価する対象
				・予想される子どもの反応	◎評価
1		○ 学校をよりよくしていくために、本議題を通しての課題を設定する。	◆ 事前アンケートの結果から、6年生がさらに団結して絆を深めるための方法を問う。  ※ 6年生として、どのようなイベントをしたいのかを問う。 ◆ 今回の活動の目標を達成するとき、成功や失敗につながりそうなことと解決策を問う。	★特別活動③ ・立山自然教室で学級に関係なく協力し合えたけど、もっといろいろな人とも協力できるようになりたい。 ・立山自然教室で学んだことを生かして、6年生として学校のためにできることをやりたい。 ③6年生で全校のためのイベントをして、絆を深めたい。 <b>6年生みんなで協力して、全校の絆が深まるイベントをしたい。</b>	発話、ワークシート記述 ③目的を達成するための自分なりの方法を書いている。
		○ みんなでよりよい解決策を目指して話し合うための課題を設定する。	◆ 「自由に回る」「なかよし班で回る」についての短所を提示して、みんなが納得できそうかその理由を問う。【働き掛け1】 ※それぞれの解決策の短所を提示し、読む。	・長所について話し合わないと、全校が楽しめるイベントになるかは分からない。 <b>【学習課題】 みんなが納得できるように話し合っ、全校の絆が深まるイベントにしたい。</b>	
2		○ 課題を解決するための見通しをもつ。	◆ 「自由に回る」「なかよし班で回る」について、どのように話し合いを進めればみんなが納得できそうなのかを問う。【働き掛け2】 ※ それぞれの方法について、納得度と理由を書かせる。	・まず、それぞれの長所を出し合いたい。 ・今回は時間を考えるとどちらでも回るのは無理だ。 ・合体案でどちらでもよいということになったら、結局みんな自由に回りそうだね。 ・どちらの長所もしっかり理解して、どちらになっても納得できるようにしたい。	
		○ 目的を達成できそうな解決策を選んでその長所を自分の経験を根拠に述べる。	◆ 「自由に回る」と「なかよし班で回る」のうち、目的を達成できそうな解決策とその理由とを問う。【働き掛け3】 ※ 立場の異なる方法についても、目的を達成できそうかを問う。	★特別活動① ①「自由に回る」がよい。自分だったら、やっぱり回りたいたい人と自由に回れた方がよい。本当に楽しかったと思ってもらえなければ、やる意味がない。 ①「なかよし班で回る」がよい。なかよし班の絆を深めて、全校のみんなが仲の良い学校になってほしい。	ワークシート記述 ①目的を達成できそうな解決策について、その長所を自分の経験を根拠に述べている。
3		○ 折り合う決定方法を考える。	◆ 話し合いの決定方法とその理由とを問う。【働き掛け4】	★特別活動①②③ <b>多数決で決めるべきだと思う。元々好きな人と遊べる「自由に回る」だったけど、これからの学校のことを考えると、もっとなかよし班で仲良くなることも大切だということが分かった。つまり、どちらにもちゃんとよさがあるから、多数決でよい。どちらになったとしてもお客さんにはフェスの目的をしっかりと説明して、友達と絆を深めてもらいたい。</b>	発話、ワークシート記述
		○ 発揮した資質・能力を自覚する。	◆ 決定したことに対して納得できたかと、なぜそう思うのかとを問う。【働き掛け5】 ※ それぞれの方法について、納得度を書かせる。	ぼくは、「なかよし班で回る」と、いろいろな学年の人と仲良くなって絆を深められそうだと分かった。それに、自分が賛成していた「自由に回る」も確かに楽しめそうだと分かった。相手の意見のよさも分かったし、自分の意見のよさも分かってもらえたから、納得できた。	
4	5	○ 話し合っ決めて実践することを実践する。	◆ 解決策を実践する場を設定し、目的を達成できたかを問う。 ※実践後、振り返りを行う。	★特別活動③（協働性） ・お客さんが「もっとやりたい」と言ってくれた。 ・5年生も私と一緒になかよし班を上手にリードしてくれたおかげで、みんな楽しそうだった。 ③なかよし班のみんなが仲良くなれるように、班の中でペアをつくって遊んでもらった。	活動の様子、ワークシート記述 ③目的を意識してイベントに取り組んでいる。